

広報九州



国民の森林・国有林

平成23年11月10日

(2011年)

No 1678

九州森林管理局

〒860-0081

熊本市京町本丁2-7

IP電話 050-3160-6600(代表)

http://www.kyusyu.kokuyurin.go.jp/



雨の中主催者代表挨拶を述べる平之山九州森林管理局長＝長崎県島原市おしが谷

雨の中主催者代表挨拶を述べる平之山九州森林管理局長＝長崎県島原市おしが谷

雨の中主催者代表挨拶を述べる平之山九州森林管理局長＝長崎県島原市おしが谷



雨の中植樹を行う参加者のみなさん＝島原市おしが谷

国際森林年記念

「いのちの森づくりリレー植樹祭」 全国12個所の会場をつなぐ

10月30日、九州森林管理局、長崎森林管理署、毎日新聞社、つながる森づくり実行委員会の

主催による「雲仙普賢岳 ふるさとの森林づくり植樹祭」が、長崎県島原市のおしが谷において行われました。

当日はあいにくの雨で、地元緑の少年団および小学生児童、おしが谷の下流に位置する安中地区町内会や中木場清水川管理組合の方々、また、林野庁から沼田正俊次長が出席。長崎県島原振興局や島原市役所からの応援スタッフを含む約300人の参加者がありました。

00本のポット苗を植え付けました。降りしきる雨の中、ぬかるむ足場にもかかわらず、参加者は移植用三ツ手を手に、淡々と植える方、また、数人で和気あいあいと植える姿が見られ、予定した時間よりも早くに植え付けが完了。帰りには植樹祭の横断幕を背に、記念写真を撮るグループもあり、参加者の皆さんには記憶に残る植樹祭となりました。多くの方々に植えていただいた木々たちが、競争しながら成長し、私たちの生活や国土を災害から守ってくれる森林となるよう見守っていききたいと思っております。

(担当＝指導普及課)



宮崎森林管理署 都城支署

高原森林事務所

森林官 高島 唯

神武天皇が幼少の頃、水辺で遊んだという伝説をもつ御池は、宮崎県都市と高原町との境界



御池湖畔より高千穂峰を望む

神武天皇ゆかりの地「御池」

はいくつかのルートがあり、2時間ほどのショートコースから8時間かかるコースまでさまざま

に位置し、高千穂峰のふもとにある、周囲4キロ、水深103メートル、火口湖としては日本で最も深い湖で、霧島連山とともに霧島屋久国立公園に指定されています。

御池を囲む豊かな照葉樹の森は、「御池野鳥の森」に指定され、周囲に整備されている遊歩道でハイキングやバーベキューを楽しむことができます。

御池は、家族連れや体力に自信のない方にもおすすめです。野鳥の声を聞きながら、四季折々の森林と紺碧の御池を堪能してください。

御池を囲む豊かな照葉樹の森は、「御池野鳥の森」に指定され、周囲に整備されている遊歩道でハイキングやバーベキューを楽しむことができます。ミヤマキリシマが有名ですが、カエデ・ツツジ・ウツギ類は数多くの品種が混在し、ヤマボウシやホオノキの木々と、アケボノソウ、リンドウ、ゲンノシヨウコ、キリンソウ等々の草花や四季折々のすばらしい彩りと景観に出会えます。散策コースに

は、カシ、タブなどの広葉樹が深い森をつくり、120種類を超える野鳥が生息し、四季を通じていろんな野鳥と出会うことができます。森の宝石とたたえられる絶滅危惧種の渡り鳥であるヤイロチョウも飛来することです。ただ残念なことには、新燃岳の荒廃による影響や、登山客が営巣中のヤイロチョウに安易に近づいたりする為か、最近では飛来数が減っているそうです。このため繁殖期への影響を避けるため一部区域を立入規制して、登山者やバーベキューの入れ者へマナーアップを呼びかけています。

野鳥の森



野鳥の森へとつづく散策路



ササなどの刈り払いを行う参加者のみなさん

「ミヤマキリシマ」の保全活動

【大分西部森林管理署】長者原から牧ノ戸峠一帯の国有林は、阿蘇くじゅう国立公園に指定され、ミヤマキリシマなどの高山植物の群生地として知られています。しかし、ミヤマキリシマの群落には、ササ類やアセビなどに被圧され衰退する個体が見られ、平成19年度から刈出しを実施し、経過観察をしています。当日は、環境省、九重町、九重の自然を守る会、九重・飯田高原観光協会から約50人が参加し、ミヤマキリシマ群落の回復を願いながら、丁寧にササなどを刈り払いを行いました。今後も継続して実施することになっています。

新任挨拶

どうぞよろしく

総務部長



たけはな すけはる
竹花 祐治

生年月日 昭和32年2月23日
出身地 岡山県
前職 林野庁管理課監査官
(職員・厚生課併任)

抱負

九州局管内での勤務は初めてですが、職員の皆さんが自信と意欲をもって楽しく働けるよう、また、心身が健康で災害のない明るい職場づくり努めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。



森木田 栄 さん



しておく訳にもいかず退職を機に、まず畑の一個所を「わいわい農園」と名つけ、友人や趣味のサークルの仲間に開放してわいわい楽しくをモットウに「楽農」を目指して活動しています。

また、山間部の畑にクヌギとドングリの木を植えました。栗

や銀杏を植える計画をしていた折りにモニター募集を知り応募しました。

自分なりに研鑽を積み、子や孫達にとって遊びやふれあひ、体験活動の場となるような「わくわくの森」を目指して行きた



「光陰矢の如し」。良く耳にしますが、年を取るにつれて、一週間が、一年がアツと言う間に過ぎ去ってしまつと。五十代も終盤を迎えた我が身にはしみじみと染み入る言葉であります。

「光陰矢の如し」

今話題のあの本を読みたい、趣味の山歩きのために図鑑で九州の植物の特色をもっと頭に入れておきたい、撮りたまった

飲みながらの読書でついうとうと眠りこけ、時を無駄に過ごしたといつも後悔の連続。晩酌は晩酌でやりながら、何とか充実した時間作らねばとの思いでたうか。

大隅森林管理署長 肥後幸男

なことが、日常的な光景となっており、山では望ましい道徳性を育む力が自然に備わっているかもしれない。

山林はもう長い間手入れしていない状態です。地球環境の面から考えても、将来的に森林の果たす役割はますます重要になっ

このような、山林所有者にも「森林・林業再生プラン」に基づく具体的方策を多方面から広報・啓発に当たってほしいと思

新燃岳の火山活動が一日も早く終息し、霧島の山々にも再び明るい挨拶が響きわたる日を待ち望んでいます。

森や緑に関する活動を目指して

私は趣味の登山によく出かけます。最近は何人がずいぶん増えて来たよう

山や森、木々の緑は人間にとってなくてはならない大切な財産です。足元の小さなことから森や木々に親しみ、自然を大切に守り育てる活動に一人でも多く

(鹿児島県始良市在住)

てくると思いますが、林業に関する知識や技術がないので、どのように手入れをしたらいいのか分からないのが最大の理由で、同じように手入れが行き届かず放置されている山林が非常に多く存在しているのではないでしょ

です。山では「こんにちは」「お疲れさまです」「お先にどうぞ」と見知らぬ者同志が気軽に挨拶を交わします。また、登山道ではごみを見かけることがほとんどありません。街なかでは考えられないよう

どりの着いた結論が早寝早起きの決行です。何もなければ、夜の9時には寝て、朝の4時半に起床。孫よりも寝るのが早いよと時々訪れる家族の嘲笑を誘っている。しかし早起きは三文の得。静寂な発問の中、すっきりした頭の中で結構集中した時を過ごせている。ただ、それでも時の流れは依然として早く、光陰矢の如しの感は何ともしがたい。

第4回 実践・公開講座 「草木染めに挑戦」

監物台樹木園みどりの交流館において、第4回実践・公開講座「草木染め」を行いました。

今回の講座には、小学生を含む34人が参加。講師に九州インストラクター会の廣瀬三重子さんを招き丁寧な指導の下、タマネギの皮やセイタカアワダチソウ、ロググウッド、スオウを原料に草木染めに挑戦しました。受講生は、各自で選んだ真っ白なハンカチやストールに、箸で挟んだり輪ゴムや紐で縛ったあと、染料作りから色落ちを防ぐための一連の作業を体験しました。



完成した作品をバックに記念撮影をする受講生

ち寄った後、全ての作品をロープに飾って鑑賞しました。

受講生の皆さんからは、「楽しんで時間が短く感じた。これを機会に身近な材料で家でも染めてみたい。」など、色鮮やかに染まった作品を手に喜びの声があふき、草木染めの奥深さや魅力を感じた楽しい講座となりました。

(担当II指導普及課)

日豪高環境ボランティア活動



イチョウは中国原産の落葉広葉樹で雌雄異株です。葉は扇形で長枝に互生し、短枝に群がって付き、短枝の葉柄の長さは一様でなく浅く2裂しています。イチョウにはオハツキイチョウ(葉の先(縁)に実がなる)やラッパイチョウ(葉先が筒状になる)があります。

普通の植物は柱頭に受粉すると花粉管がのびて胚珠で受精しますが、イチョウは受粉後、4ヶ月はそのままで、成長した胚珠内で精子が作られ、精子は花粉室の液体の中を泳いで造卵器

【屋久島森林管理署】「国際

森林年」記念行事の一環として、日豪両国のボランティア20人が屋久島に滞在し、地元住民と屋久島の森林環境維持活動や希少種の保全活動を行いました。当活動は自然環境保全の意識向上や相互の交流を深めることを目的とし、(社)国土緑化推進機構助成事業として行われたもので国有林を活用した活動はヤクタネゴヨウの保全やスギ林保全作業を2日間に渡り行いました。一行は、下刈りや間伐を体験。爽やかな汗を流していました。



活動を終えて記念撮影するみなさん＝屋久島

参加者から「間伐して林内が明るくなることを実感した」などの声をいただきました。終了しました。

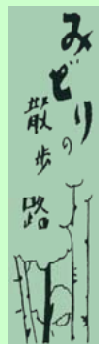
50 イチョウ(イチョウ科)

に入る特別な受精をします。

木を見て雌株か雄株かの判定はできません。しかし成木になり果実がつくようになると雌木は枝先がしなでれるので遠目には雌木の判定はできます。

花を見たことがありますか。

雄花は尾状になって垂下します。落下すると地面は雄花で黄色の絨毯のようになります。雌花は上向きに緑色の球状がふたつきですが、この球状が雌花で、裸子植物ですから花弁や柱頭などはありません。樹木園奥の西側に大径木があり、5月始め雄花が落下します。



11月というのにこの秋は暖かい。小雨まじりの天候の中、先日釣り大会が行われた▼潮は中潮、満潮時は10時前後だ。筏に付き早速竿をだすが餌は付いたままである。潮が変わるまでしばし横になり作戦を練ることにした▼臉を閉じ今日の仕掛けを復習する。うとうととしていると、同軸のリールは集材機に思えた。連想を膨らますと筏用竿は28mmラング擦りの主索といったところか?さらに道糸は12mmの作業索。ガイドの滑車を通しよりもどしへ連結。10号のおもりは重垂、4号のチヌ針はフック。索張りはタイラー式といったところか・・・?▼当局では7月から10年後木材自給率50%以上を目指した森林・林業再生プランの実現に向け、森林・林業の技術者や人材を育成するための准フォレストリサーチ研修がスタートした。27年度までの5年間に全国で約2000人を養成する予定だ▼木材搬出の方法もさらにコスト軽減に向けた改善が進められることだろう▼当日の釣果は低調だったが、第1投で60センチのコロダイをつり上げた先輩が優勝を手にした(浩)